

港区带状疱疹ワクチン任意接種助成事業の実施について

長期化するコロナ禍の中で、外出控えや心身のストレスの増加などから免疫力が低下している人が増え、带状疱疹を発症する人が増加しているとの報告が医療関係者から出されています。また、新型コロナウイルスワクチン接種が全国的に展開されたことにより、予防接種に対する区民の関心が高まっており、区には、直近においても带状疱疹ワクチン接種費用の助成を求める声が多く寄せられています。

带状疱疹は、重症化や死亡リスクが低いことなどの理由により、区はこれまで任意接種費用助成の対象外としていましたが、治療費が高額となり被保険者、保険者ともに負担が大きいことから、区民の心身の健康増進や経済的負担軽減が課題となっています。

区は、このような状況を踏まえ、区民のQOL(クオリティオブライフ)向上、带状疱疹ワクチンの高い発症予防効果の観点から改めて検討を行い、このたび、带状疱疹ワクチンの任意接種費用の一部助成を実施します。

1 概要

(1) 助成内容

ア 生ワクチン(1回接種)

6,500円

※生活保護法による保護を受けている人、中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律による支援給付を受けている人(以下「生活保護受給者等」という。)については、8,800円

イ 不活化ワクチン(2回接種)

接種1回当たり15,000円

※生活保護受給者等については、接種1回当たり22,000円

(2) 対象者等

ア 対象者

事業実施年度の3月31日時点で50歳以上の人

※令和4年度は、昭和48年4月1日までに生まれた人

イ 接種見込数

約1,400件

※50歳以上の人口109,396人(令和4年11月1日現在)のうち年間5%程度の接種率を想定し、令和5年1月~3月の事業期間における接種見込数

2 今後のスケジュール(予定)

令和4年11月 令和4年第4回港区議会定例会に補正予算案提出

令和5年 1月 広報みなど、区ホームページにより区民に周知

区民からの申請に基づき予防接種予診票を送付

以降、接種日時点で満50歳以上の方から順次接種